



議会だより

No. 101

平成 26 年 4 月

発行/日野町議会



3月定例会 主な内容

平成26年度当初予算	……………	p 2～5
条例・補正予算	……………	p 6
総務常任委員会視察報告	…	p 7
一般質問 (7人)	……………	p 8～14
出かける議会報告・回答	…	p 15

日野中学校入学おめでとう 19人の仲間たち

夢と希望を抱いて日野中学校に入学した新一年生。仲間を大切にして、勉強・クラブ活動頑張ってください。

健やかな成長を、町民みなで見守りましょう。

第2回定例会は、3月4日に開会し、会期を3月20日までの17日間とし、平成26年度当初予算8件、平成25年度補正予算6件、条例の制定1件と一部改正6件、条例の廃止1件、経費の賦課基準及び徴収時期及び方法1件、人事案件1件を原案どおり可決、同意しました。一般質問では、7人の議員が活発な質問・意見を展開しました。

子育て支援 若者定住促進 医療と保健、福祉の連携

副町長選任に同意

政策的なものは、今後の補正予算で対応

当初予算は、骨格予算として義務的経費など最低限必要な経費のため、一般会計の予算は前年度と比較して、1億6,605万円の減額となっています。

単位：万円

予算内訳	会計/区分	平成26年度当初予算	前年度比較	採決
一般会計		28億9,785	△1億6,605	反対者佐々木求ほか全員賛成
特別会計	国民健康保険特別会計	3億9,680	142	全員賛成
	介護保険特別会計	5億8,879	△176	全員賛成
	後期高齢者医療保険特別会計	5,648	184	全員賛成
	簡易水道特別会計	1億 317	△188	全員賛成
	公共下水道事業特別会計	1億 970	558	全員賛成
	農業集落排水事業特別会計	5, 164	△2, 240	全員賛成
	鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計	49	△11	全員賛成
	計	13億 708	△1,730	

欠席議員 中原 明

重点施策

グラフ・表の 主な説明

個人町民税は、課税所得の増を見込みますが、納税者の減により12万円の増です。

固定資産税は、家屋の見直し等により272万円の増です。

地方交付税は、推定の96%を見込み、昨年より6322万円の減です。

人件費は、特別職が増額となりますが、一般職が減となるため285万円の減となります。

衛生費は、予防費、保健事業費等ですが、塵芥処理費の減などで8358万円の減となります。

公債費（借入返済金）は本年、返済金のピークであることから1588万円の増となります。

平成26年度一般会計歳出予算性質別集計表

単位：万円

科目	本年度	前年度比較
人件費	5億9,043	△285
物件費	3億3,013	2,839
維持補修費	3,553	154
扶助費	2億7,040	△1,871
補助費	7億3,392	△2,645
普通建設事業費	7,599	△1億2,830
公債費	4億8,089	1,588
積立金	171	9
投資及び出資金	0	△700
貸付金	380	△1,170
繰出金	3億7,003	△1,693
予備費	500	0
合計	28億9,785	△1億6,605

一般会計・反対討論

佐々木 求議員

財政再建で、住民の協力を得ながらここまでの改善を成し遂げた例は、全国そんなには多くはないと思う。しかし、同和対策の根拠法は2002年に無くなり、それ以前にも、国は33年間も15兆円以上の支出が行われている。どんな理由を述べても許されるものではない。多くの町民の願いは、一日も早く「終結」することです。

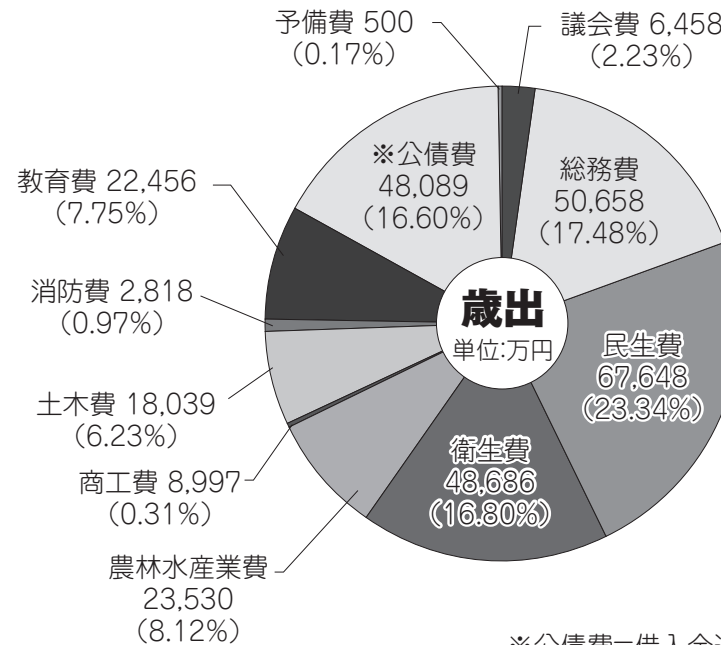
一般会計・賛成討論

安達 幸博議員

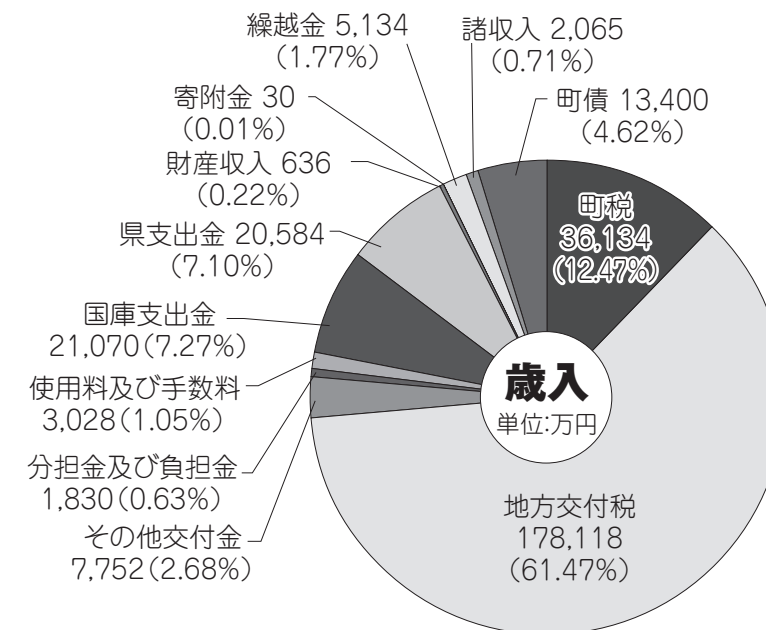
子ども15年プランの成果に期待しますが、町の特色ある独自の教育方針が必要だと思います。乳幼児健康保持、各種予防接種等、保健・予防事業などの民生費やチャレンジプラン支援、中山間地直接支払、農地・水保全管理支払などの農林水産費等、町民生活に欠かせない予算であることから、確実に適切な執行を望み賛成討論とします。



中山間地水路改修作業



※公債費=借入金返済費



副町長を迎えた執務のようす

各ページの金額は、全て千円未満を切り捨て表示しています。合計に差違が生じます。 △は減額

予算審査特別委員会

委員会は全議員で構成し、委員長小谷博徳、副委員長安達幸博を選出して、平成26年3月5日、6日、11日、12日、13日、17日、18日の7日間開催し、一般会計・特別会計予算について、関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行い、11項目の審査意見を執行部に伝えました。

平成26年度 主な事業

単位：万円

総合行政情報システム管理	番号制度に伴うシステムの改修	583
総合行政情報システム管理	XPサポート終了に伴いパソコンの更新	434
移動販売事業者補助	移動販売を行う経費の一部補助	100
耐震性貯水槽設置	久住地区に2基設置	1,480
過疎バス対策事業	町営バス4路線の管理運営委託及び米子線の路線維持	2,704
消防用施設等整備費補助	消防ホース等購入補助	25
地域活動支援交付金	住民による地域活性化のための活動交付金 上限20万円	200
生活交通確保支援事業	タクシーの運賃補助	300
わが町支え愛活動支援	見守り体制の構築、個別避難訓練等支え愛活動を行う自治会への補助金 1地区10万円上限	25
子育て支援	1歳から3歳までの子育て支援金3万円	120
児童手当	中学修了前まで子育て支援	3,090
山間地域等直接支払交付金	農業維持・農地保全など	4,712
地域おこし協力隊支援	地域おこし協力隊の報償費・活動費等	1,616
新規就農支援給付金	新規就農者 年間150万円を支給 最大5年間 26年度2名分	300
橋梁修繕	福長橋の修繕	1,906
町道黒谷2号線改良	榎市から小原 1カ所の改良	2,268
学校図書館司書配置	保小中学校と図書館の連携	469
外国語指導助手配置	外国語教育の充実	528
放課後子ども教室	安全・安心な居場所支援	609
町民ミュージカル補助	歴史文化を題材	50
おひさま広場事業	ひのっこ保育所と連携し子育て支援	414
社会福祉協議会助成	高齢者支援等	825
児童扶養手当支給	ひとり親家庭に、児童扶養手当を支給	1,118
西部広域行政管理組合	広域消防、清掃事業等に対して負担	1億2,961
日野病院組合事務	日野病院運営支援	3億3,919



わが町支え愛活動で購入した備品



町民ミュージカル

予算審査意見

◎交流事業

大学との交流は、実行委員会を作り、事業などの内容の協議がおこなわれているが、研修の体験や成果を町民に還元できる事業報告会などを期待します。

◎道路維持一般管理

町道の管理などは、緊急雇用で対応しているが、高齢化による管理範囲の拡がりや予想される、必要に応じた雇用の拡大など、柔軟性を持った対応をされたい。

◎地域おこし協力隊支援事業

地域の維持・再生、活性化に大きな期待が持てる。全町の視野にたった事業展開を望みます。

◎耕作放棄地再生支援事業

耕作放棄地再生支援は、全町の優良農地の復元利用を検討していく必要があると考えます。

◎新規就農支援事業

新規就農者に対して1人年間150万円となっている。新規就農者の自立に大きく寄与しており評価したい。一方、町内後継者（Uターン）の新規就農に対しても、支援策を講じる必要があると考えます。

◎日野町地域活動支援交付金事業

この交付金を活用し、元気な集落づくりや地域の活性化に成果が上がっています。更なる広がりを期待します。

◎過疎バス対策事業

町営バス対策は、大幅な増額となっており、一層のサービス向上に努められたい。

◎わが町支え愛活動支援事業

わが町支え愛活動支援事業（町社会福祉協議会が事業主体）と消防用施設等整備費補助事業をリンクさせて総合的な防災対策を行い、一層効果を上げられることを期待します。

予算審査特別委員会主な質疑

審議の経過

問 地方交付税4割減額の根拠は。

答 公債費は見込み。税の地方配分は4割と固く見ている。

問 根雨社会体育館は解体と説明を受けた。使用料1000円は何か。

答 解体までの電気代等。

問 母子福祉費は、母子家庭の支援で予算計上されているが、父子家庭の支援はできないか。

問 黒坂農業集落排水事業の汚泥減容化の委託料は、どれくらいの経費削減効果を出しているか。

答 当初100割削減するということであったが、冬期間の低温などにより、汚泥が30立米くらい出ている。年間90万円くらいの経費削減効果が出ている。

答 現行制度では、母子家庭しかならない。

問 国庫支出金の教育費補助金の内訳は。

答 特別支援教育就学奨励費です。

問 簡易水道特別会計の修繕費の算出根拠は。

答 修繕費は、年度により幅があり、過去3年を参考に正予算で対応したい。



黒坂減容化施設

◎子育て支援おひさまひろば事業

子育て支援事業は、町内ボランティアの皆さんと一緒に、子育て世帯の保護者を助け、子どもたちの健全な成長の一助になっています。更なる活動の広がりを期待します。

◎健康増進事業

町民健康診査への興味関心を高めるために、積極的にさまざまな行事に参加され、ことあるごとにPRに努められています。この姿

勢は町民に親しみやすさと安心感を与え、受診率の向上につながっています。更なる事業展開に取り組まれます。

◎学校図書館司書配置事業

学校図書館司書2人の学配置は、町図書館等と連携をとりながらその職務にあたり、読書意欲を高めるのに実績が上がっています。今後も幼児の段階も含め、児童・生徒の支援に努められたい。



地域おこし協力隊による除雪作業

中山間地域研究センターと飯南町で 中山間地域の 課題と対策を研修

総務経済 常任委員会 報 告



総務経済常任委員会は、2月20日、21日と鳥根県飯南町で研修を行いました。研修の目的は、中山間地共通の課題であり、少子高齢化や産業の衰退などに、どのような施策や対策で取り組みが行われているか。成果と課題について、鳥根県飯南町役場と鳥根県立中山間地域研究センターで話を聞きました。

飯南町は、広島に2時間、松江に1時間30分の位置で、公共交通機関はバスのみです。基幹産業の農業は、高齢化が急速に進み、70歳以上が65%と高齢者が担っている状況でした。飯南町役場では、平成22年度から、「農業振興計画」を策定し、今後の農業の方向性を打ち出しています。「計画」は平成27年までで、町・県・農協などの農畜産関係機関で協議会を作りまとめたものです。移住者の受け入れも熱心に行い、8年間で190人を受け入れています。空き家登録した家を斡旋しています。空き家の片付けや、改修に補助金をだし、農地は町が10年間借り上げ、貸与するなど、農地とセットで集落に住んでもらうようにしています。中山間地域研究センターは、農業・畜産・林業・鳥獣対策など、80人を超す研究体制で課題に取り組み、研究・情報発信・研修の拠点機能を持っています。



飯南町役場で研修



研究センターで研修

各分野の研究にとどまらず、現地での実践による成果の実証も行われているところがセンターの特色でした。中山間地の抱える問題を、若者定住・鳥獣対策・地域コミュニティ等大きく8つの分野に分け取り組まれています。21日は、江津市有福温泉の災害復興状況を視察、飯南町交流物産館「iマルシェ」（三次市）を視察し帰路につきました。

視察を終えて 視察地は、本町の抱えている課題と共通点が多く、非常に参考になりました。中でも「農業振興計画」は、農林業関係機関等に早急に、取り組む働きかけを議会より進める必要性を強く感じました。また、中山間地域研究センターで研究された内容や地域で実践されている成果を、本町の関係団体等が積極的に利用し、課題解決に生かす、町の活性化に繋がりたいと思いました。

条例

日野町に副町長を置かない
条例の廃止

日野町に副町長を置かない条例（平成20年第23号）の廃止について、出席議員全員賛成で可決しました。

副町長の選任

山口 秀樹氏（鳥取市）
職歴 鳥取県庁入庁
市町村振興課長

文化芸術課長
北栄町助役
福祉保健部次長
子育て王国推進局長
八頭総合事務所長
県土整備部次長

副町長の選任について、出席議員全員賛成で選任に同意しました。

欠席 中原 明議員
日野町職員の再任用に関する条例の制定
出席議員全員賛成で、可決しました。



賑わっている金持売店

25年度・一般会計補正予算

（第8号、9号）

2444万円を減額し、総額を32億6596万円

主な歳入

- ・財政調整基金繰入金 △2724万円
- ・観光費寄付金（町観光協会より） 400万円
- ・緊急雇用創出事業補助金 656万円
- ・地方交付税 2539万円

主な歳出

- ・西部広域行政管理組合負担金 △406万円
- ・愛と元気の日野町ふるさと基金積立 156万円
- ・後期高齢者医療保険療養給付費負担金 △1042万円
- ・竹林整備費補助金 △802万円
- ・学校用備品 15万円
- ・文化センター光熱水費 14万円
- ・町債 △2539万円

2年連続鳥取県一

鳥取県町議会広報紙コンクールにおいて、日野町議会だより98号の表紙が、写真の部で最優秀賞を受賞しました。

シイタケ農家の久代宏一さんから、シイタケ栽培の指導を受け、研修を積んでいる廣瀬俊介さんの作業写真です。



議会広報常任委員会 お知らせ

議会だよりは、101号から、1段の字数を13字から12字に、活字の大きさを1級大きくして、読みやすくしました。引き続きのご愛読をお願いします。

日野町議会は、議会報告会並びに意見交換会を左記の日程で開催します。

記
日時 平成26年4月26日（土） 午後6時
場所 日野町開発センター

無償化を目玉に

答 負担軽減で対応



中原 信男議員

議員 26年度から、県の子育て支援事業を活用して、本町の子育て支援並びに、若者定住の目玉政策にしてはどうですか。
保育料の無償化・軽減化

の考えはありませんか。
町長 保護者の責務として、子育てに対する意識を持っていただきたいという考えであり、無償化ではなく軽減を検討していきたいと思っています。

農業振興策は

議員 鈴原餅の生産拡大を目指して、町・農協・生産者と連携を図り、生産・販売計画まで立案し、本町のブランドとして農業振興の起爆剤にしてはどうですか。

産品として、支援していきたいと思っています。

産業振興課長 種もみの確保を視野にいれながら、生産者、関係機関と十分に協議しながら、生産拡大に取り組んでいきたいと思っています。

議員 鵜の池湖畔の町有地を芝生化してはどうですか。

町長 オシドリの餌となるクヌギを植樹しており、当面現状のまま維持していきたいと考えています。

議員 保育料については、6月の補正で内容は出されるということですが、無償化という考えはありませんか。
町長 町として無償化に踏み切ると、今の段階では余りにも問題があります。決して後ろ向きではなく、軽減に向けて一歩一歩踏み込んでいくのがベターだと思います。

保育料の無償化は生活支援になり、若者の定住化を促し、また移住促進に繋がると考えます。
町長 非常に職員の確保が難しい状況にありますし、総合的に支援していくことが大切であると思っています。今、6月補正に向けて検討中です。

計画性のある行政を

議員 町財政推計は平成32年度までされていますが、具体的計画が分かりませ

ん。中・長期計画(事業)は、どうなっていますか。
町長 計画に基づいた、推計を行っているところで

議員 それなら公表されてはどうですか。
町長 推計は、必要経費の外、主要事業を網羅したものであると理解していただきたいと思っています。

私は、今のところ公表の必要がないのではと思っています。



支え愛マップ作成

防災計画を実践へ

議員 自主防災活動育成支援の具体策は何ですか。
町長 町では、社会福祉協議会と連携して支え愛マップの作成等、隣近所の助け合いを行うことを基本に啓発、推進しています。

議員 全集落避難マニュアルが必要ではありませんか。
町長 全集落が避難手順を作成することが困難と考えますので、町として簡単なものを検討してみたいと思っています。

保育料の無償化を

答 軽減を検討中で無償化はしない



松本 利秋議員

議員 少子化対策の一環で県は保育料の半額補助を打ち出されました。これに呼応して、保育料の無償化に取り組みられてはどうですか。
町長 無償化は考えていませんが、軽減はしていきたいと思っています。

議員 町長は一人でも多くの若者に住んでもらいたいと述べられました。住んでもらうためには、雇用の確保と働きやすい環境づくりを、サポートすることだと思います。



ひのっこ保育所

教育環境整備は

答スピードを上げて議論する



竹永 明文議員

議員 少子化が進む中、小
学校の統合については、ど
のように考えていますか。
町長 ただ数の論理で統合
を議論しますと、問題があ
ろうと思います。

これだけ子供が減って
くと、どうしたらいいのか
というのを少しスピード
を上げて考えていく必要が
あると思っています。
早計に町長が、「統合し
ます」とある日、突然に申
し入れることだけは避けた
いと思っています。地元と
よく相談しながら対応して
いきたいと思っています。



町民運動会 (黒坂)

議員 小学校は、学校教育
以外に地域の活性化の拠点
であるということを考えな
がら、教育委員会で統合問
題について議論すべきでは
ありませんか。
教育長 統合ありきではな
く、日野町15年プランの評
価、点検をおして、日野
町の子供たちにとって望ま



町民運動会 (根雨)

しい方向と何が必要なのか
を検討します。
議員 避けて通れない問題
であると思っています。
協議を開始して、具体的
に保護者、地域の人の意見
を聞く場の開催を望みま
す。

町長 いつまでも放置する
問題ではありません。
教育委員会に早急に協議
に入るように申し出をした
と思っています。

地域おこし協力隊

積極的・多面的導入は

答人材と

環境づくりが課題

議員 施政方針は3期目4
年間を見据えた方針と受け
止めました。
26年度予算へ、どう反映
されますか。
町長 26年度予算は、骨格
予算で組みました。施政方
針の具体的な事業は、6月
または9月の補正予算で、
計上します。

議員 次の3点について町
長の考えを問います。
①「移住定住者」のフォ
ローは

との考えは持っています。
しかし、応募者の能力
や、地域の受け入れ態勢な
ど課題もあります。

②地域おこし協力隊の多面
的導入

児童生徒の学力アップ等
多面的な導入も考えていま
す。

③住居としての空家登録
は。

③空家登録の状況について
は、空家の状況が多様で、
話がスムーズに行かないこ
ともありますが、地域の紹
介など多方面の働きかけも
必要であると考えていま
す。

施政方針

予算に反映は

答6月・9月に予算計上



小谷 博徳議員



地域おこし協力隊による畑おこし

町長 ①移住定住者については、
結婚、出産、家庭を築く
という状況に、敬意をもつ
ています。一方メンタル面
でフォローは、不十分で
あったと感じています。
今後は、話し合いの場を
つくりたいと思います。
②地域おこし協力隊につい
ては、積極的に導入しよう

8年間の教訓に立つ町づくりを

答 自主・自立の気風を生かす



佐々木 求議員

議員 8年間の教訓と・課題は何と考えますか。
町長 自助・共助で取り組まれる分野が非常に活発で、いい意味で役場を頼りにせず、自主・自立の気風が高

まっていることです。それでできなくなつた部分を、公助としてしっかりと取り組みたいと思います。

「体制の不備」とは何か

議員 保険・医療・介護・生活支援など、仕組みや資源の総動員をし、円滑に支援サービスの提供ができる体制を、整えることが必要と述べられたが、体制の整備とは具体的に何ですか。

難しい状況になりつつあります。地域の環境づくり、支援体制の構築では、持続可能な支援と、住民の利用促進が存続への道につながりますが、根本的な問題は人口の減少です。

要・不急なものを極力避け、安心安全な災害に強い町づくりを急ぐことが大切ではありませんか。

災害に

強い町を目指す

町長 箱物やハード事業が財政危機の一因になりました。

町長 病院・介護施設・福祉団体・交通機関・事業所など、比較的整っているが、現場で働く看護師や介護職員など、人的資源の確保が

人的資源の確保が難しい

議員 今後の公共事業は、ライフラインの老朽化、大規模災害の対応事業など、大きな投資を伴う。財政危機に至つた教訓に立ち、不

急ぐのは 安心安全な町づくり

投資の重点化やコスト削減、圧縮で効果的な執行と、必要性・緊急性・効率性を検証し、安心安全な災害に強い町を目指します。

公金横領

町長の責任は

議員 このたびの不祥事の対応は、早期収束を思うあまり、真の動機説明をしながら、真の処分とセットで謝罪記者会見を行ったことで、町民の皆様から批判を受けました。トップの責任をどう考えられているのか。

職員自からの努力

町長 町長として取れる責任を取った。5年間の硬直した人事が問題と指摘されたが、万全の信頼をしていたので、疑いは微塵も感じなかった。ぬるま湯で能力向上はあり得ないのが私流です。4月からの新体制で、懸命に頑張る職員の努力を期待します。

一部保育料無償化を

答 意見として聞く

議員 生活保護世帯からままで保育料を徴収しています。非課税世帯と生活保護世帯からの保育料の徴収は止めるべきと考えます。

町長 保育料の負担軽減に入るので、意見として聞きます。

原発災害避難計画は

答 現実的でない。



梅林 智子議員

議員 町防災計画は素案の段階だが、実際に起こつた事故で被害は広範囲に及ぶことが知れ渡つたのに、30キロ圏の段階的避難を行うことや、日野町では480人の島根県民避難者を受け入れる計画とか、国・県は計画を作らせ、原発再稼働を進めようとしています。どう考えますか。

町長 原発事故があれば日野町民も逃げます。この想定は現実的ではないと私も思っています。中国電力は再稼働するなら、終末処理もきちんとして、安全を国民に知らせて、それから論議するべきです。

西部町村会7か町村の意見は、「町民の安全を図る」ことで一致して県に対して申し入れをしています。

原発避難 幼い生命を守るため



名木百選 江戸郷寒桜



山村開発センター

町政運営

政策の具体化は

答 緊急性、必要性を見て



安達 幸博議員

議員 政策による地域間、自治体間競争の考え方を尋ねます。

町長 自治体間の競争をしようとは思っていません。特色ある町づくりをしていきます。

議員 予算は、日野町ビジョンと関連づけて編成していますか。

町長 昨年、関連づけは、新しい視点と答えました。現時点の課題を実施する最良の方法を議論し、財政

推計をもとに事業を行っています。日野町ビジョンは、基本ではありますが、実施計画ではないので、現状に对应しています。

議員 政策を事業化・実現化するプロセスを尋ねます。

町長 政策、事業の内容にもよりますが、課題の緊急性、必要性を検討し、計画策定し、解決や実施に向け議会や関係者に説明し、十分理解をいただいた上で、予算化し実施しています。給食センターの調理配送業務委託は、調理員、配送者運転手とも募集しても応募が無く、民間委託に方針を変えました。

根雨社会体育館使用停

止、解体も同様のプロセスを経て現在取り組んでいます。

議員 補正で対応する政策的事業は何ですか。

町長 保育料の負担軽減、移動販売者助成事業、防犯灯のLED化に伴う助成、文化ホール・図書館のLED化、しっかり守る農林基盤交付金事業や豪雨により被災した所、根雨地区簡易水道の水質安定化を図る基本計画の策定、中学校のトイレの洋式化など、副町長と検討しながら6月、9月の補正予算を考えています。



LED化を検討中の日野町図書館（議会だより100号記念展示）

出かける議会 意見・要望の回答

平成26年1月16日、日野町公民館で開催しました議会報告会及び意見交換会で、伺いましたご意見を議会で検討しましたので報告します。多数のご参加をいただき、貴重なご意見ありがとうございました。

◎本郷水路改修工事の地元負担の軽減策はないか。
近年、古くなった堰きや水路の補修が問題となつて



新庄村のがいせん桜祭

国が補助率を決めており、議会としても自己負担の軽減に向けて、国に「意見書」提出等努力をしていきたいと思えます。

水路関係者の中にも様々な事情で放棄する方もあります。この点では、関係者の皆様の協力も必要かと考えます。

◎中山間地の農村振興を
大きな課題として位置づけ、国内研修なども行っています。農地の保全・担い手や認定農家の育成・特産品の開発など、これという方向がなかなか打ち出せていないのも現状です。

I・Uターナー者の取り組みの支援、地域おこし協力隊の3年後の定着に向け、頑張る若者の支援など具体的な課題もあると思っております。

◎新庄村との交流は議会だけではなく、住民もできないか。
議会交流は、2年前から行っています。民間の交流は、今後の流れの中で模索する課題だと思えます。

◎子育て支援を
子育て支援策は福祉・医療・教育と各般にわたります。県も支援策として、保育料無償化等を打ち出しました。負担の軽減策を求めたいと思います。

◎タクシー・バスの利用について
運転免許を持つていれば、原則タクシー助成は受けられませんが、福祉の面からケースバイケースで柔軟に対応できます。

議会として、本町のまちづくりの視点から総合的な公共交通機関の再構築を町に要請します。

◎日野高校のあり方は、何かに特化し、魅力ある学校にできないか。
日野郡3町協議会で、要望書が県に出されました。

・日野高等学校魅力化コーダイネーター(仮称)を設置。

・実際の進路につながる具体的な資格取得や、学習科目の編成。

・生徒と社会人が共に学べる環境づくり。

・福祉分野の創設。などの内容です。議会も共に推進してまいります。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介します。

地元で演劇活動 さん・ふいーんど



2009年 オシドリ仮面 ひのっこ保育所公演

脚本で演じています。ひのっこ保育所で、オシドリをヒーローにした「オシドリ仮面」というヒーローショーをしたり、たたら製鉄のフォーラムで小説「TATA RA」の寸劇をしたりと活動も多

様です。演劇は文化芸術の中でも、ちよつと一般的に馴染みが少ないものだと思います。けれど、今では町内だけでなく、町外からもたくさんのお客様が活動を応援してくださいます。「演劇が好きでさん・ふいーんどのお芝居を観に来て初めて日野町に来た。素敵な町だと思った。」と町外の方の声。

「町内に住む見知った人たちがこんな劇をして活躍する姿に元気をもらった。」と町内の方の声。

好きなことを好きなように活動してきたのに、それが町を知ってもらおうきっかけになったり、元気の源になってくることが本当に活動してきてよかったと幸せ



2001年 第4回公演 「ON YOUR MARK」

に感じます。これからも、地元で根付いた活動とともに、演劇を通してたくさんの方の輪を繋げていけたらと思います。

平成26年7月26日、27日と日野町文化センターにて公演予定です。

演劇を観たことのない方もぜひこの機会にさん・ふいーんどを観に来てください。

さん・ふいーんど筆

あしがき

桜花爛漫 日野路にも、ようやく桜の便りが運ばれてきました。3月は別れ、4月は出会いの時節といわれます。町職員7人が退職され、新しく7人が採用されました。

3期目を迎えた景山町政も副町長を迎え、新たな執行部体制も整いスタートしました。26年度予算も決まり、町民が実感できる町づくりに向けた期待を寄せたいと思います。

議会活動を、町民目線で行ける意義を、広報広聴活動に乗せて、努力していきます。町民の皆様の声掛けを待っています。

小谷博徳

議会広報常任委員会

委員長 安達 幸博

副委員長 松原 直人

佐々木 求

小谷 博徳

松本 利秋

梅林 智子